

2018年6月25日

各都道府県連盟 理事長

日本勤労者山岳連盟
理事長 浦添 嘉徳

第17回全国登山研究集会 in 愛知の開催について

日頃、労山運動でのご尽力に敬意を表します。

さて、本年2月の全国連盟総会でご承認いただきました全国登山研究集会を、全国連盟主催、愛知県連盟主管により、愛知県で2年ぶりに開催することになりました。

つきましては、下記のとおりご案内いたします。各地方連盟に置かれましてはこの集会成功のために、所属の会クラブに開催の案内・周知をお願いするとともに積極的に取り組んでいただくようお願いいたします。

また、この集会では、実践・研究レポートを多く提出いただけることが成功のカギを握りますので、この点についても特段のご配慮をお願いいたします。

実施要綱

テーマ 誰もが登山できる喜びを広げ、登山文化と労山運動を次世代に継承し発展させよう！

目的

労山は、登山・ハイキングの素晴らしさを多くの人々に健康で文化的なスポーツ・レクリエーションとして普及・発展をめざし、労山運動を行ってきた。

いま、多様に発展した労山の登山活動で、遭難事故を防ぐ登山技術の継承や、会員の楽しい活動で、若者や未組織登山者のさまざまな登山要求に応えていくことが求められている。会員の情熱とエネルギーが、そうしたことに向けて発揮されるならば、労山はさらに大きく発展することができる。

そこでこの集会では、会員誰もが登山できる喜びが得られる仲間づくりを目指す、組織の拡大・強化、遭難事故のない登山を追求し、それを実現する登山技術と登山文化の継承、登山者の多様な登山要求に応える活動などについて、全国各地の会・クラブや地方連盟の日頃の優れた実践と成果を交流・共有し、今後の労山運動の発展につなげる集会とする。

この集会に多くの労山会員、全国の登山の発展に尽くされている登山愛好者の参加を、心より呼びかけるものです。

記

- 期 日 2018年11月23日(金・祝日)～24日(土)
- 会 場 愛知県民の森 モリトピア愛知(宿泊施設名) 愛知県新城市
- 参加対象 労山会員および全国の登山者
- 主 催 日本勤労者山岳連盟
- 主 管 全国登山研究集会実行委員会・愛知県勤労者山岳連盟

日 程 23日 12:30 受付開始
 13:00 開会あいさつ
 日本勤労者山岳連盟理事長あいさつ
 13:10～ 記念講演「K2からシリアへ」
 8000mのビバークから見えてきたもの
 講師：小松 由佳 氏（登山家・写真家・労山カレンダー選考委員）
 1982年秋田県生まれ。2006年、“世界で最も困難な山”
 世界第二の高峰K2(8611m)に日本人女性として初めて
 登頂。人間の暮らしに惹かれ、草原や沙漠を旅する
 うちフォトグラファーを志す。2012年からシリア内戦
 を取材し、シリア難民の今を伝える活動を行う。

14:30～ 休憩
 14:50～ 基調報告
 ・集会の意義目的と組織強化拡大・次世代育成について
 15:50～ 活動報告 連盟及び加盟団体の活動：6団体程度予定
 ・会クラブの組織強化・次世代育成など優れて実践経験

18:00 第1日目閉会
 18:30～ 夕食・交流会 20:30～宿泊施設で各自交流

24日 7:00～8:00 朝食
 8:30～11:30 分科会
 11:30～12:00 全体でまとめ集会・解散
 分科会
 1「労山の組織強化・拡大、次世代育成」
 2「登山のための筋力維持と強化」
 3「安全登山」
 4「若い世代の交流」
 5「大開発による山岳自然破壊とどのように向き合うか」
 リニア新幹線による南アルプス等の自然破壊の実態等

参加費用 一泊二食での参加 8,500円
 日帰り参加一日も二日も 500円(資料代)

宿 泊 愛知県民の森 モリトピア愛知

問合せ先 労山全国連盟事務局 TEL 03-3260-6331
 FAX 03-3235-4324 E-mail jwaf@jwaf.jp

レポート提出 9月30日(日)迄

参加申込締切 10月25日(木) 別紙申込書にて全国連盟事務局まで

レポート募集

都道府県連盟および会・クラブから下記のテーマで活動報告を求めます。都道府県連盟から、会クラブの優れた活動について、実行委員会へ積極的な推薦をお願いいたします。

成功事例や特徴的な活動として、全国の仲間に広めていきたいと考えていますので、第17回全国登山研究集会では、地方連盟・会・クラブから寄せられたレポートを報告集として作成し、当日の資料とします。

寄せられたレポートのなかから、全国登山研究集会で発表していただく方々を選出することにします。発表者については、参加費及び会場までの交通費は全国連盟で負担します。

レポートテーマ（下記の分科会テーマに沿って）

- 1 「登山会員拡大強化と次世代の育成」
- 2 「登山・ハイキングのための筋力維持と強化」
- 3 「安全登山」
- 4 「若い世代の交流」
- 5 「大開発による山岳自然破壊とどのように向き合うか」

リニア新幹線による南アルプス等の自然破壊の実態等

具体的には、

会員拡大の実践的な経験、新入会者への丁寧懇切な対応、会報発行と会員の連携や強化、新規加入の為にホームページの活用、登山運動の歴史や登山基金の有用性への意識共有、会の運営体制の工夫や努力、山行計画書と山行管理の体制と緊急時の対応、筋力維持と安全登山への取り組み、役員の次世代育成、若い世代の自主的登山活動の推進、平和と登山の活動、など多様なレポートをお願いします。

報告書の書式と枚数は下記のようにお願いします。

ワード文書、用紙 A4、余白 上下左右ともに 25mm、文字数・行数 40
フォントの設定 日本語用のフォント MS明朝、英数字用のフォント MS明朝（または日本語用と同じ）、スタイル 標準、サイズ 12
文書 2枚程度、写真や図表がある場合は追加 1枚

以上をパソコンメールに添付で全国連盟 E-mail jwaf@jwaf.jp へお送りください。

報告期限 2018年9月30日

2018年 第17回全国登山研究流集会 in 愛知

参加申込書

都道府県連盟 _____ 団体名 _____

【代表者】 氏名 _____ 電話 _____

メールアドレス _____

参加者名	会員番号または住所・電話番号	性別	参加形態	分科会
		男	宿泊 23日のみ	
		女	24日のみ	
		男	宿泊 23日のみ	
		女	24日のみ	
		男	宿泊 23日のみ	
		女	24日のみ	

宿泊（一泊二食）希望の方は宿泊に、日帰り参加の場合は、23日と24日のどちらに参加するかで囲んでください（日帰り参加の場合は食事が付きません）。

24日の分科会は下記の中から選択して番号を記載してください。

- 第1分科会「労山の組織強化・拡大、次世代育成」
- 第2分科会「登山の為の筋力維持と強化」
- 第3分科会「安全登山」
- 第4分科会「若い世代の交流」
- 第5分科会「大開発による山岳自然破壊とどのように向き合うか」

送付先：郵送 〒162-0814 東京都新宿区新小川町5番24号
日本勤労者山岳連盟・事務局あて
FAX 03-3235-4324
メール jwaf@jwaf.jp

参加費（8500円）の振込先は、宿泊希望の参加者に申込受付後、連絡します。
日帰り参加費（500円）は当日現金でお願いします。